

図書館へ寄付を頂きました 国際ソロプチミスト八女

9月27日(木)、国際ソロプチミスト八女の皆さんから図書館用ブックトラックを2台寄付いただきました。緑と黄の優しい色合いをしたブックトラックは、図書館備品として大切に使用し、利用者へのよりよいサービス提供のために活用いたします。現在は本の展示などに使用していますので、ご来館の際はぜひご覧ください。



町内選手が相撲で大活躍！ 福岡県民体育大会

9月23日(日)、竜光寺公園の相撲場で「第61回福岡県民体育大会相撲競技」が行われ、町内の選手が大活躍しました。

個人の部で入賞した稲員選手と馬場選手は、隆雄道場の師弟の関係。準決勝は2人の師弟対決となり、接戦の末、弟子の馬場選手が見事勝利しました。

- 団体の部
 - 2位 八女郡（広川町）
- 個人の部
 - 2位 馬場稜太選手
 - 3位 稲員雄治選手



見事入賞した馬場稜太選手（下段右）、稲員雄治選手（下段左）、田中皓大選手（中央）

セーリングで全国大会出場！ 吉里区 岩本沙織さん

吉里区の岩本沙織さんが、10月3日(水)に開催された「第73回国民体育大会セーリング競技会成年女子セーリングスピリッツ級」で4位に入賞しました。

岩本さんは大会の結果について、「台風24号の影響で大会スケジュールが大きく変更し、体育館で調整するのが大変でした。スタート時はペアの上村さん（福岡市）と話すことで、緊張せずに臨めました。風が私たちに味方をしてくれたこともあり、本当に楽しかったです。入賞を目指していたので、4位に入賞できたのは本当にラッキーでした」と語ってくれました。

なお、岩本さんには広川町のスポーツ振興を目的に寄与される「広川町体育協会スポーツ振興チャリティー基金奨励金」が贈られました。



まちのわだい

私たちの世界を考える グローバルお作法キャンプ

9月29日(土)、参加型ワークショップ「グローバルお作法キャンプ」が行われ、子どもたちは楽しみながら世界の現状を学びました。

日が落ちた後は、照明などすべての電源をオフ。暗闇の中で食事やお話し会(すべらない話)をして、電気のない世界を体験しました。

便利さと豊かさは一致しない。一見、不便であっても幸せに生きている人がいる。自分たちはこれからどんな世界を生きたいか。子どもたちは今回の体験で、さまざまなことを考えた様子でした。

今後のグローバルお作法キャンプでは、子どもたちが国連公用語や世界のマナー・しきたり(お作法)について学んでいきます。子どもたちの成長をお楽しみに!

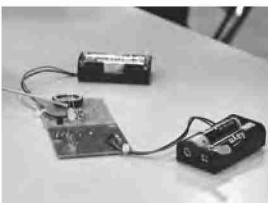


電気と光通信を学ぼう 久泉ふれあい広場

久泉区公民館で9月15日(土)、地域の小学生が電気と光通信について学びました。

久泉ふれあい広場の活動として行われたもので、電気の仕事や電気を作る方法について学んだり、光通信の実験をしたりしました。

リモコンの光がスマホを通すと見えることを知った子どもたちは、「なんで見えるようになるの?」「リモコンの光以外に見える光はある?」など、講師にたくさん質問していました。



おすすめ本を熱く語る 町立図書館でビブリオバトル

9月15日(土)、町民交流センター「いこっと」でビブリオバトルが行われ、中学生と短大生の発表者5人が対戦しました。発表者はあらずじを紹介したり、観戦者に質問したりして、自分のおすすめの本を紹介。「読後の感想は?」「著者のほかの作品は読んだことある?」などのディスカッションで盛り上がりました。

チャンプ本の「生まれる。」(鈴木おさむ著、朝日新聞出版)は、町立図書館にもありますので、ぜひご覧ください。

●ビブリオバトルとは?
発表者のおすすめの本を5分間で紹介。紹介を聞いて一番読みたくなった「チャンプ本」を、発表者と観戦者が投票で決定するゲーム。



秋空の下、新そばを堪能 スローフードフェスタ 2018

逆瀬ゴットン館で10月14日(日)、毎年恒例のスローフードフェスタ「新そば祭り」が行われました。さわやかな秋風を感じる中、訪れた人々は採れたての新そば「水車そば」を堪能。50食限定だったゆずそばはすぐに完売になるなど、会場は例年以上の盛り上がりでした。

そのほか地元の果物やパンの販売、餅の実演販売もあり、餅がその場で出来る様子に興味津々に眺める子どもたちの姿が見られました。



仲間と心をついに 中広川小学校運動会

10月13日(土)、中広川小学校で運動会が開催されました。今年のスローガンは「ゴールのさきまでつっぱしれ!みんなのキズナがナンバー1」。1年生から6年生まで協力し、練習の成果を発揮しました。

初めての運動会となる1年生は、ポンポンを使ったダンスを披露。かわいいダンスを見た観客席の皆さんの顔には笑顔が浮かんでいました。

最後の種目「組体操」では、6年生が今まで関わってきた皆さんへの感謝を表現。難易度の高い技も見事成功させ、会場全体から大きな拍手と歓声が上がりました。

エコバッグ作りでワクワク体感 ひろかわまちじょプロジェクト

女性の「やってみたい」をカタチにするための応援プロジェクト「ひろかわまちじょプロジェクト」が始まりました。

第1回目となる10月8日(祝)の講座には、町内の女性約15人が参加。講師の彌永裕子さんからワクワクを行動に移すきっかけを聞いた後、ステンシル(型染)でオリジナルのエコバッグを作りました。参加者は自ら選んだ図柄を使って思い思いに色をつけ、ワクワクを体感。自分だけのバッグができあがりました。

プロジェクトは来年2月まで行われますので、興味のある人はぜひご参加ください。

● 彌永裕子さん：広川町地域おこし協力隊。オリジナルのゆるキャラを作るなど、得意のものづくりでワクワクを実践している。



音楽と笑いで大盛り上がり！

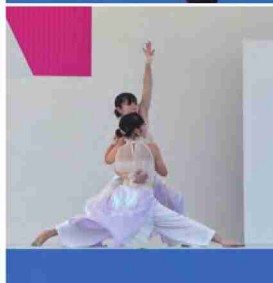
第37回広川まつり

10月20日(土)と21日(日)、広川中学校西グラウンドで「第37回広川まつり」が開催されました。今年のテーマは「音楽×笑」。音楽とお笑いいっぱいステージで、来場者に笑顔を届けました。

20日(土)の前夜祭「ワイドリバー音楽祭」では、久留米大学チアリーダーディング部や長瀬つもりが登場。お笑いコンビ「どぶろっく」のスペシャルライブは通路までいっぱいになるほど多くの人でにぎわい、子どもから大人まで終始笑顔を浮かべていました。

21日(日)の本祭「パフォーマンズ大賞」では、ご当地ヒーロー「吹王火剣フクオカリパー」ショーや「松下笑一」のバルーンパフォーマンスに、子どもたちは大盛り上がり！写真撮影やバルーン配布には長蛇の列が出来ていました。

恒例となったダンスコンテストでは、ジュニア部門7チーム、一般部門12チームが出場。レベルの高いバトルが行われました。



ジュニア部門優勝：RIAAK

一般部門優勝：Cu-舞

多種多様な作品が一堂に

合同展示会

10月20日(土)と21日(日)、町民交流センター「いこつと」で、町内の皆さんが制作した文芸作品の展示会が行われました。毎年広川まつりと同日に開催されるこの「合同展示会」は、広川町文化祭の一つ。会場には絵画や華、俳句など、多種多様な作品が展示されました。

ちぎり絵のコーナーでは、その繊細さに「絵かと思った」「どうしたらこのようなものが作れるのか」と多くの人が驚きの声をあげていました。

広川町文化祭は11月25日(日)まで行われますので、詳しくは本紙10月号4ページをご覧ください。

